

# 強いられた死のない社会をめざして

## ～「自殺」をなくすために私たちができること

わが国では、昨年まで14年間連続して年間3万人を超える自殺者を生みだしている異常な状態が続いています。自殺をめぐる話題は毎日のように報道されており、その陰には、報道もされないたくさんの自殺者がいます。そして、それを嘆き悲しむ遺族たちがいます。

本シンポジウムでは、わが国の自殺を巡る問題状況を確認しながら、自殺者数が根本的に減少していない背景に、格差の拡大や社会保障の切下げなどの社会構造的要因があることに焦点をあてていきます。そして、その中で、弁護士・弁護士会が果たすべき役割についても考えます。

### 基調講演

日本社会の病巣と命の  
大切さについて (仮題)

「夜回り先生」

水谷 修 氏

### 特別報告

茂 幸雄 氏  
西 垣 迪世 氏

自殺の「名所」として知られる東尋坊で自殺防止活動を続けてこられた茂さんからは、水際での活動とそこから見えてくる現在の施策の問題点などを、西垣さんからは若者を死に追い込む過労自殺の実態と問題解決の提言をいただきます。

また、被災地弁護士会から被災地における相談活動の現状、内閣府からは政府の現在の取組などについても報告をいただく予定です。

と き：2012年10月4日(木)  
12時30分～18時(受付開始11時)

と ころ：佐賀市文化会館大ホール  
佐賀県佐賀市日の出1-21-10  
JR佐賀駅から車で約15分

※本シンポジウムは、どなたでもご参加いただけます。  
参加は無料ですが、当日は報告書を1冊2000円で販売します。  
手話通訳がつきます。



### パネルディスカッション

清水 康之 氏

(特定非営利活動法人自殺対策支援センターライフリンク代表)

生水 裕美 氏(滋賀県野州市市民生活相談室主査・消費生活相談員)

弘中 照美 氏

(NPO法人多重債務による自死をなくす会コアセンター・コスモス理事長)

大塚 耕太郎 氏(岩手県医科大学大学院医学研究科講師)

コーディネーター

辻 泰弘

(佐賀県弁護士会)

杉浦 ひとみ

(東京弁護士会)